

半日の講義で、明日からの自分と、学校現場に戻ってからの教育活動に大きく生きると確信しました。「表現すると考えがまとまる」に納得した。小学校社会科6年の教科書(歴史)は、文章量がいちじるしく少なく、歴史の前後関係が分かりづらい。先生の著書をとても楽しみにしております。

今回の講義は納得がいった。図にすると全体像が掴めた。図の学習の偉大さを知った。

板書を図解でまとめるようにしたい。

つながりを見つけるのが面白くなった。

表現方法の視野が広がった。実用的なデザインだと思った。

百田尚樹の「永遠の0」を読んだ。他の本も読んでみたい。

日本史の本ほしい。世界史も！毎日図を書きます。

図を書くことで視野が深くなる。もっと図解を知りたい。先生の本を読みます。

百田尚樹さんの記事を図解して、分かりやすく表現でき感動した。じゃんじゃん使っていきたい。

自分の頭の中がすっきり整理できていくのがよく分かり、図の力はすごいと思った。

バイトで塾講師を始めたところなので、図解の方法を有効に活用したい。

図解コミュニケーションという言葉を初めて聞いた。「人間の脳に強くインプットするためには図解する」その通り。

画期的。ものすごく頭を使った。その分頭に入った。

面白かった。Facebookでも是非。

関係性をうまくつかんで書き込むというのは難しかった。

学生の時にこの方法を使って勉強すればよかったなと思った。久恒先生の本を読んでみようと思う。

文章を図解したらとてもシンプルに分かりやすくなり、驚いた。

ただ箇条書きするのではなく、一つ一つの関連性をよく見ることが大切だと感じた。

講義を聞いて、自分の考え方が変わった気がする。

図解は本当によい勉強法だと思った。

もう少し早く、中学や高校のときに知りたかった。百田尚樹さんの本も読んでみようと思う。

あらゆることに使えそうで、これから楽しみです。とても楽しい授業でした。

考えながら描いた後は、関係が分かっているのでも頭に残っている感じがした。これからは、自分で理解するためと、説明に図解を使ってみようと思う。

図を使ってまとめる方法を使っていきたい。日本史の図解本はとても欲しい。興味があるので購入させていただきます。高校生の時に発売されていて欲しかった。

文章を図に置き換えるという発想が面白かった。頭をものすごく使って疲れたが理解できた。

教育実習でも使いたい。

「表現する」→「考える」ということが実際にやってみて凄く分かった。自分の視野をもっともっと広げていきたいと思った。

頭の中の考えが整理され、とても楽しく思った。

歴史の教科書が図で表してあったら、どれだけ楽であっただろうと思った。これからの授業のノートも見やすいように図で描けるようになりたい。

視野を広くするということが真の意味で理解できた気がする。教育者にとって非常に重要なことです。

宮崎駿さんなど「人」を図解して、今までにない経験をした。「関係性」に注目して多面的に物事を捉え、そこから発見が出来る図を書けるようになりたい。